

# 1 大和証券投資信託委託 iFree

## S&P500インデックス

# 成長期待の高い米国株式の有力銘柄へ低コストで投資可能

**ファンド概要**  
米国の株式（運用の効率化のためETF・株価指数先物取引も利用）に投資し、投資成果をS&P500指数（円ベース）の動きに連動させることを目指して運用。2017年8月31日設定。2017年10月25日現在、基準価額は1万767円。純資産総額は19億4780万円。

**米**国のインデックスと聞いて、まずNYダウ平均株価（ダウ工業株30種平均）を連想する人は多いだろう。資産運用でも定番の株価指数で、ETFを含めると日本国内でも10程度の連動型ファンドが設定されている。一方、米国にはNYダウ以上に代表的なインデックスがある。それがS&P500だ。スタンダード&プアーズが算出する株価指数で、NY証券取引所やNASDAQに上場するうち、500銘柄の株価で構成されている。

S&P500を投資対象にしたインデックスファンドは、国内では1種類（2017年7月時点）しか存在しなかった。海外での知名度をよそに、日本の個人投資家にとって長らく馴染みの薄かった



16年4月に大和投信が提供を開始した「iFree」は、投資、もっと自由（Free）に、をコンセプトに、購入時の手数料が無料とされ、信託報酬も低く抑えたインデックスファンドシリーズ。スマホから見やすい専用ウェブページを設けるなど、投資家利益と利便性を重視した商品性で注目を集めている。同社は、つみたてNISA対応ファンドとしてiFreeシリーズからは8本を厳選。バランス型の「ダイワ・ライフ・バランス」シリーズ3本も加え、全11本のラ

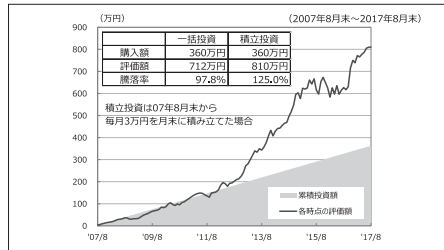
インナップ。中でも「iFree S&P500インデックス」は、年明けのつみたてNISA開始に照準を絞った肝入りの、国内で数少ない「S&P500に投資するインデックスファンド」だ。まず知っておきたいのは、S&P500は米国株式ではあるが、内実は米国内にとどまるものではないという点。実は、組入れ銘柄企業の売上の4割以上は、アメリカ国外で稼ぎ出されているのだ。その内訳はアジア8%強・欧州8%強・南米2%弱・アフリカ4%弱・その他が10数%（16年）。

はアップル、マイクロソフト、フェイスブック、アマゾン、バークシャー・ハサウェイ（BH）など、一般にも知られる有力企業が名を連ねる。つまり、「米国株式を通して、巨大なグローバル企業や世界経済に投資する」というイメージで捉えることができる。「NYダウに比べ銘柄分散が図られ、S&Pの500銘柄だけで米株式市場全体の時価総額の8割弱をカバーしているため、機関投資家のベンチマークとして広く活用されています。またS&P500は算出開始以来、時価総額を堅調に伸ばしており、BHのバフェット氏も安定成長の見込める投資先としていち押ししています。長期で米ドル高・円安となる見通しに

態とする向きもあり、投資を躊躇する人もいるかもしれない。しかし97年からの20年間、S&P500は名目GDPの伸びに沿い成長を遂げている。02年のITバブル崩壊、08年のリーマン・ショックでの下落を受けながらも、そこから反発して史上最高値を更新し続けている点も、S&P500の強みといつていい。「積立投資に適した投資対象とは『ある程度の値動きがあり、下落があった場合でも、その後反発する力が強いもの』だと考えられます。米国は常に技術革新の先頭を走り経済を進化・拡大させています。さらに人口増加、資源の獲得など今後の伸びしろを保っておき、S&P500は反発力の面で期待があります。つみたてNISAで本ファンドをお客様にご提案するうえで、まず米国経済の成長性とS&P500の底堅さ、そして積立投資でS&P500に投資するメリット（株価指数の反発力）について理解いただくのがよいかと思います」（鈴木裕子・ファンド・プロモーション部 エグ

ゼクティブ・プレゼンター） S&P500へ投資した毎月積立一括購入のパフォーマンスを過去10年で比較すると、リーマン・ショック前の高値つかみでスタートしていた場合でも、積立では好成績となった（図表）。リーマン・ショックで「投資は怖い」と損切りしてきたお客様にも、つみたてNISAで初めて海外株式に投資するお客様にも、この実績は心強く映るのではないか。信託報酬の低さも大きなアピールポイントだ。料率0.243%（年率・税込）は、S&P500インデックスファンドでは国内最安水準。「iFree」は購入時手数料もゼロのため、トータルコストを大幅に抑えられる。欧米では、当たり前のようにS&P500をベースとして長期のポートフォリオを構築する個人投資家も多い。低コストで相対的に高いパフォーマンスを期待できる本ファンドは「積立投資による資産形成」の屋台骨としての提案も可能だろう。（本誌・大信永輔

### ●S&P500（配当込み、円ベース）に積立投資した場合



（出所）ブルームバーグが提供するデータを基に大和投信作成。表中一括投資は07年8月末に360万円を1回で投資した場合

積立投資の成績に貢献する下落時の反発力に期待あり  
近時、米国株の上昇をバブル状態と見做す向きも出てきた。大和投資信託では、「はじめてみよう！つみたてNISA」(販売会社向け支援ツール)のセールス話法DVDを同社ファンド取扱販売会社に無料配布しています。お問合せは同社営業担当またはマーケティング企画部（TEL 03-5555-4341）まで。

近時、米国株の上昇をバブル状態と見做す向きも出てきた。大和投資信託では、「はじめてみよう！つみたてNISA」(販売会社向け支援ツール)のセールス話法DVDを同社ファンド取扱販売会社に無料配布しています。お問合せは同社営業担当またはマーケティング企画部（TEL 03-5555-4341）まで。